



「コウノトリ」と「追究の楽しさ」

Uster 駅近くのレンガ製の大きな煙突の上にコウノトリの巣があります。我が家のベランダからはちょうどその巣が目になります。それまでは、気にかけていなかったのですが、この6月に思い立って望遠レンズで観察すると、幼い2羽のヒナが親からエサをもらっていました。以来、気になって観察を始めました。そのうち、ヒナが成長し、はばたき練習を始めると、ますます熱心に観察するようになりました。といってもずっと見張るわけにもいかず、とりあえず朝起きてから出勤前までと、帰宅してからの時間を利用して、カメラで動画撮影をし、あとから映っている動画をさっと確認して、面白い場面があれば編集をするようになりました。あまり時間と手間はかけないけれど、地の利を生かして観察と動画記録を続けました。休日や夏休みには、いつもより少し時間をかけて観察しました。いろいろな発見がありました。

20230701

文責：教頭

- ・親鳥はくちばしを鳴らしながら、巣のヒナに帰宅を伝える。
- ・ヒナは巣の中が汚れないように尻を外に向けてフンをする。
- ・2羽の親鳥の一方の足には行動把握リングがついている。
- ・子供は親鳥に比べて羽がぼさぼさ。
- ・雷や大雨の日に親は身を挺して子供を守る。
- ・親鳥は、近くの鉄塔でじっと巣を見守ることが多い。
- ・兄弟のヒナでも飛ぶ練習の上達進度が違う。 etc.

20230816



子供がもうヒナとは言えないくらい成長すると、観察に対する思いや視点が変化しました。

- ①高い煙突の上から、意を決して飛び立つ姿を見たい。
- ②片方の子供が飛び立つと、今度はなかなか飛び立たないもう一方が飛び立つのも見たい。
- ③両方が飛べるようになって、巣に戻って親からエサをもらっている。いつ子離れ、親離れするのか見たい。
- ④親の行動にも注目するには巣のアップだけでは不十分なので、視野を広げた撮影も必要だ。

こんな過程を経て、動画撮影は、カメラでのクローズアップ版に並行して、時間があるときはスマホも使って視野を広げたロングショット版も撮影するようになりました。

早朝の動きが活発と分かってくると、子供が飛び立つ前の午前6時前にさっと起きて、カメラをセットするようになりました。普段は苦手な早起きも不思議と苦になりませんでした。また、いろいろな疑問が次から次へと出てきました。学校の宿題でもないのにこんなに真剣に自由研究みたいなことをしたことはありません。

子供たちの学びにも通じるところがあるかもしれません。本校では、いろいろな学びの場面で実物に触れたり、直接お話を聞いたり取材したりすることを大切にしています。また、教員と子供たちで相談しながら、課題を設定して授業を進めたり、子供たちの考えを尊重しながら課題追究を進めたりしています。このような学びの姿勢の大切さ、楽しさを、私はコウノトリ観察を通じて実感できたのでした。

最後にコウノトリの近況。飛べるようになった子供が親鳥からエサをもらう場面と近くの鉄塔から親鳥が見守る場面は日に日に減っていきました。見ている範囲では、8/30朝に子供が飛び立って、夕方に親鳥が戻ってからは、子供は戻っていません。巣の宿主が親鳥に戻ったようです。戻ってくるのが1羽だけのこのことがあれば誰も戻らないこともあります。最近は大きな変化はありません。このあと、寒い季節にかけての動向も気になるころですが、そろそろ観察も終了かと思っています。

撮りためた動画記録を見ると、子供の成長記録になっており、わが子でも自分のペットでもないのに感慨深いものがあります。特に印象的な日の記録を中心に総集編にしてみました。興味のある方は、右のQRコードから開いてご覧ください。市のホームページの市紹介動画に映っているくらいなので市民にも認知されているコウノトリなのだと思います。



https://drive.google.com/file/d/1_zrQmmjGrzXvAjxcoGxK_91X0bXDIBYF/view?usp=sharing

【総合的な学習の時間】

巻頭言とも関連しますが、本校の課題追究学習の大きな柱が「総合的な学習の時間」です。今年度も各学年で、子供たちの考えを尊重しながら課題を設定し、追究を通して学びの楽しさを実感できるよう学習に取り組んでいます。

【本校の今年度の「総合的な学習の時間」の探究課題や内容】

○小学部 中学年

- ・探究課題:ウスターやスイスの人々について調べ、調べたことを日本へのお土産にしよう。
- ・具体内容:地域の世界遺産について調べ、自分たちで選んだスイスのお宝をPRする。など

○小学部 高学年

- ・探究課題:地域で暮らす人々が大切にしている文化や価値観について考え、自分のこれからの生活に生かそう。
- ・具体内容:アンケート調査や取材活動を通してスイスの動物保護事情を調べ、日本との相違を考える。など

○中学部

- ・探究課題:社会に希望をもち、自分の未来や夢について考え、目標に向かって進む力を身に付けよう。
- ・具体内容:職場訪問等を通してスイスで働く人の人生観や職業観を知り、ロールモデルを探す。など

【小学部 中学年 学級自慢】

こんにちは
中学年で
WUNDERBAR

中学年の皆さんに聞いた!

中学年って、どんなクラス?

1 元気 笑いがいっぱい

みんな個性が豊かで、いつも面白いです♪

中学年はいつも笑顔で元気なクラスです。

クラスのいいところは明るいところです。

2 集中!!

勉強の時は集中し、遊ぶときには元気いっぱい遊んでいます。

性格が穏やかで自信に満ちています。

3 Wunderbarなクラス

中学年は個性豊かで、相手の良いところを認め合い、笑いがいっぱいの教室になっています。(礎乃夏)

勉強に熱心でとても考えている。いつも楽しそうに遊んでいる。 Wunderbarなクラス◎

KEEP ON FOLLOW US

@CRUSAKUNEN